



## 国際防災・危機管理研究 岩手会議 INDS2018 に参加しました (2018/7/17)

テーマ：国際防災・危機管理研究 岩手会議 INDS2018  
場所：いわて県民情報交流センター「アイーナ」(岩手県盛岡市)  
URL：<https://inds-iwate.org>

7月17日(火)から4日に渡り、いわて県民情報交流センター「アイーナ」(岩手県盛岡市)で Global Conference on the International Network of Disaster Studies in Iwate, Japan "Iwate Conference" (国際防災・危機管理研究 岩手会議)が開催されました(主催：岩手大学地域防災研究センター、清華大学公共管理学院危機管理研究センター(中国)、ハーバード大学ケネディースクール クライシス・リーダーシップ・プログラム(米国))。初日には、拠点メンバーから実践防災学研究領域の今村文彦教授、門廻充侍助教、災害人文学研究領域の福田雄助教および災害医学研究領域の奥山純子助教ら4名が参加し、研究発表を行いました(筆頭として5件)。各発表者の講演題目等は次頁に掲載しております。今村所長からは、3.11も含めた巨大地震・津波の発生と被害の概要、そして、災害研の発足の経緯とミッション、門廻助教からは、津波により人的被害のレビューと今後の生存学に向けてのアプローチ、福田助教からは、三次元スキャナを用いた文化財保存の事例報告と今後の展望、奥山助教からは、高校でのメンタルケアの実態、今後の健康データベースの展開などについて発表があり、多くの質問や今後の研究に対する期待を頂きました。今後も災害科学研究拠点では、各種学会・シンポジウム等を通して、多くの研究成果を国内外に発信して参ります。

※太字は災害科学拠点のメンバー

著者	タイトル
<b>F. Imamura</b>	Establishment of IRIDeS and its role for DRR
<b>F. Imamura, H. Takakura, T. Matsuzawa, and K. Ito</b>	New challenges on disaster science based on the experience and lessons learned in the 2011 Tohoku earthquake and tsunami
<b>S. Seto, F. Imamura, and A. Suppasri</b>	New research project on the fatality process in the 2011 Tohoku earthquake for survival study from tsunami disaster
<b>Y. Fukuda, R. Kodani, and H. Takakura</b>	Toward the interdisciplinary studies of disaster humanities: preserving tangible and intangible folk cultural properties with three-dimensional data
<b>J. Okuyama, Z. Yu, K. Ito, S. Kuriyama, A. Hozawa, I Tsuji, and H. Tomita</b>	Establishment of disaster health databases to provide effective disaster health response and preparedness

文責：門廻充侍(実践防災学研究領域)  
次頁へつづく

